

総務経済常任委員会関連 主な意見

質 問	回 答
<p>宍粟市の災害対策を市民に周知する取り組みをされているのか。</p>	<p>市の防災対策が市民にあまり伝わっていないかもしれませんが、毛布や簡易ベット、食料等を備蓄しています。年一回、各旧町を回りながら市の防災訓練を自治会を含めて行っています。</p>
<p>市の障がい者雇用について、市民への周知が足りないのではないのか。</p>	<p>市民の意見として関係部署に伝えていきます。</p>
<p>各消防団で議論・調整してくれと言われるが、どう進めるのか、行政から説明が必要ではないか。</p>	<p>去年二月に市よりたたき台の資料として消防団に提供しています。四月以降から説明を進めます。</p>
<p>消火栓の現状はどうなっているのか。 また、据え置き型消火栓の使用可否など、確認は消防による点検が行われているのか。</p>	<p>市内全域で毎年の防災訓練実施と機器の点検など、あわせて取り組んでいただけるよう、今後も啓発をしていきたいと担当課より返答いただいています。</p>
<p>消防団員数について各分団に何人の団員がいたら（必要人数）良いのかを集計し、定員を決めれば良いのではないのか。 また、自主防災組織と連携した組織を作るのは難しいので、高齢者・女性が初期消火をするような組織を作ればどうですか。</p>	<p>自治会によって様々な考え方がある。自主防災組織と連携した組織を作り、今後、追及していきます。城下では、統廃合など自治会・分団に説明が始まり、自治会と調整を進めると聞いています。</p>
<p>事業用太陽光発電の設置の話がよくあるが、土地の所有者が市外の方もいらっしゃるのでは、売買を止めることができない。しっかりとした管理がされるのか非常に不安である。</p>	<p>太陽光発電の設置に対する条例化をしています。地域の意見として、市や議会も考えていかなければならないと考えます。</p>
<p>森林環境税の活用状況はどうなっているのか。</p>	<p>R4年度 当年度森林環境譲与税額 146,538,000円、当年度充当額 96,396,292円、当年度積立金額 50,141,708円です。事業内容詳細は市HPに公開されています。</p>
<p>農地が非常に荒れている。若い人も農業に参加できるよう、行政からの支援や助成をしていただきたい。</p>	<p>地域からの希望として関係部局に助成や施策の検討について伝え、委員会としてもしっかりと研究・提案していきます。</p>
<p>国や県が農業に関して考えることは、大規模農業が中心であり、末端の小規模農業を考慮していない。各地区の農振地の見直しをお願いしたい。</p>	<p>市民からの意見として関係部局に伝えていきます。また委員会としてもしっかりと研究・提案していきます。</p>
<p>種子や苗を米国から輸入するようになっているのだが、日本の農業を潰す傾向になっているように思う。また除草剤、その他薬品などの使用で、水が汚染されるのではないのか。</p>	<p>ほとんどを外国からの輸入に頼っているが、緊急事態に備え、自国でも対応できるように対策が必要だと思います。日本でも除草剤の実験は行われ、内閣府の食品安全委員会では発がん性は認められないと結果が出ています。その過程を経て、除草剤の使用上の注意点を遵守すれば安全に使用できます。</p>
<p>質 問</p>	<p>回 答</p>

<p>波賀町は毎年85人減っているのです36年後には、波賀町の人口は0になるのではないですか。人口減少の対策はしているのか。</p>	<p>全国的に人口減少の状況で、宍粟市からの人口減少・流出を減らす対策は必要であるが、即効的な施策はないので現在取り組んでいる施策を見直しながら行っていく必要があります。</p>
<p>放射線育種米に関して、どう考えているのか。</p>	<p>兵庫県では、放射線育種米を使用しておらず予定もない。</p>
<p>国道429号志引峠のトンネル化要望の現状は？</p>	<p>関係の市町村で促進協議会を作っており、今後も引き続き要望をしていきます。</p>
<p>宍粟に住んで欲しい遊びに来て欲しいと言えるまちづくりをしていただきたい。</p>	<p>議員それぞれ思いを持って活動をしていると思っています。</p>

文教民生常任委員会関連 主な意見

質 問	回 答
<p>公共交通バスの乗車状況について、広報しそとと一緒に自治会長へ報告がある。 平均乗車数が1.5人に満たない路線は廃止になるのか。</p>	<p>現在の計画では乗車率が少なくても廃止にはならないが三方繁盛つれてってカー等他の交通手段を含め、検討する必要があります。</p>
<p>三方繁盛つれてってカーは、コミュニティ支援員が実質一人なので増員するなどして運行範囲を広げ便数を増やしてもらいたい。</p>	<p>運行曜日は利用者の需要に応じて増やせるが、運行範囲は現在の法律で決められており拡大はできない。利用者にとってより便利な公共交通となるよう提案していきます。</p>
<p>大沢路線では小茅野に週一回しかバスが来ない。大沢の奥で待機している時間に小茅野へ来てもらいたい。</p>	<p>議会からも要望を伝えますが、自治会長を通して市へ伝えて頂ければ便数を増やす協議も可能です。</p>
<p>小型バスの運行に関しては、ドアtoドアを考えてもらいたい。</p>	<p>小型バスでは難しいが、地域によっては違う形態を考える必要があります。</p>
<p>神野地区と同じように、三津地区の歩道を歩く子供たちのためにガードレールの設置はできないか。</p>	<p>地区からも声上がり、通学路の安全点検箇所に入っています。現場確認は終了して国土交通省に伝えています。</p>
<p>図書館は古くて利用しにくく、地域の繋がりが無い。 学生が図書館で勉強することはできないのか。</p>	<p>図書館で勉強することはできます。また、防災センター1階にスペースが確保されています。図書館は社会教育の計画で建て替えも検討されています。議会として内容を検討していく必要があると考えます。</p>
<p>少子化が続く中において、給食の完全無償化を目指すべきではないか。</p>	<p>議会としても検討すべき課題であると考えます。</p>

新病院関連 主な意見

質 問	回 答
新病院に公共交通は乗り入れるのか。	山崎営業所で乗り換えることなく新病院へバスで直接行けるように検討されています。
市民の負担を軽くするために、安価な病院建設に努めるべきではないか。	市民の負担を軽くすることはもちろんですが、病院建設に関しては、議員間でも様々な意見があります。
整形外科、眼科、麻酔科の常勤化が必要ではないか。	整形外科、麻酔科の常勤医確保は、病院経営の強化に向けても重要であり、その実現を求めています。
救急のほとんどが姫路方面へ搬送されている。これで安心安全な病院と言えるのか。	西播磨北部地域の初期・二次救急を担うとともに、回復期機能を充実させ、兵庫県立はりま姫路総合医療センター等での高度急性期治療が終了した患者の在宅復帰等にむけたサポートを行うよう受入体制を強化するよう求めています。
医師不足が解消することはない。	医師の確保は非常に難しい課題ですが、県養成医の派遣をはじめ、引き続き大学病院へ医師派遣要請の継続を求めています。
高砂には市民の意見が反映できる政策審議会があるらしいが、宍粟市はどうなのか。	宍粟市ではそれぞれの政策で市民の意見を反映させた審議会をしています。新病院建設に関しても、令和元年10月から令和3年9月まで市民代表委員・公募委員も含めた「新病院検討委員会」が設置されていました。
病院の金額はいくらになったのか。	令和5年9月に公開プロポーザルを行い、戸田、神名のJVが選ばれました。現在、金額を含め契約に向け交渉中の段階です。
7億円の売り上げが上がる根拠は。患者数は増加するのか。	県医療構想に基づき、急性期病床を減らし、回復期病床を増やす計画です。収入増加の根拠は、診療機能の向上や整形外科医の常勤化などにより、入院・外来患者数の増加が見込まれるとされています。
人口が減るのに税金も減る。その中でうまくできるのか。	議員間でも様々な意見があり、議会として意見の一致点を見出すことは難しい現状です。
住民が納得できるような病院にして欲しい。生の意見を聞いて欲しい。市民の意見が届かないのでは不安しかない。	議会としても市民への積極的な説明は求めており、今後も求めています。

新病院関連 主な意見

質 問	回 答
<p>特別調査委員会の意見が半々であれば、新病院建設を止めないといけないのではないか。</p>	<p>特別委員会は、開院後10年間の収支シミュレーションの妥当性について、意見の一致点を見いだすことはできなかったが、新病院整備に係る課題解決への政策等を提言してきました。なお、10年間の収支シミュレーションは、県の助言や経営強化アドバイザーの分析と検証を確認する中で、今後も議会として監視を続けていきます。</p>
<p>新病院建設予定地は、ハザードマップでは浸水エリアとなっている。 昨今、全国各地で線状降水帯が発生しており、3m嵩上げしても安全が担保されていないのではないか。それ以上の水害が出たらどうするのか。</p>	<p>ハザードマップ、過去の被害状況、揖保川河川改修の進捗状況、また安全コスト等を踏まえ、万一1階部分が浸水したとしても、受変電設備、受水槽、重要物品などは、2階以上に設置するなどの対策により2階以上で安全を担保した医療を提供するという考え方で計画をしています。</p>
<p>新病院にはヘリポートが必要ではないか。</p>	<p>救急車で5分程度の山崎インターにヘリポートがあります。救急時はその施設等を利用し、災害等のやむを得ない時は病院駐車場を防災ヘリ等の発着場として使うなど、緊急避難時は臨機応変な対応をされると考えます。</p>

質 問	回 答
議員個人の活動チラシなどはどのように手に入れることができるのか。	議員によって発信方法が違いますので、議員に直接問い合わせていただきたいと思います。
女性が参画しやすい議会（オンライン等）を考えているのか。また議会として現在どの様な取り組みをされているのか。	現時点ではオンラインでの議会参加は出来ません。ICT推進委員会で条例改正等を見据え研究・検討しながらオンライン等を進めています。
議会報告会の趣旨がわかりにくく、内容が漠然として何を質問すればよいかわからない。 また、市からの報告を説明するだけでなく、議員から施策提案するものがあれば教えて欲しい。	実施要項や手順も含め広報広聴委員会内で再度整理し、参加しやすい報告会を目指します。
議員個人の考え方であるが、本会議での一般質問者数が少ないのではないか。	議員それぞれ考えがあると思いますが、議員間で意見共有していきます。
報告会に参加したいが、時間帯や日時などで平日は参加しにくい。またネーミングを含めて日程等を検討してはいかがか。	実施要項や手順も含め報広聴委員会内で再度整理し参加しやすい報告会を目指します。また、報告会は市民の意見をお聞かせ願いたいというのが一番の趣旨であるためネーミングも含めて考えていきます。
自治会に要請し多くの皆さんに、集まってもらうことが大事ではないですか。	コロナ禍の前は動員をお願いしていました。しかし、市民に負荷をかけるなという意見もあったので、今回は要請しませんでした。今後に向けての課題といたします。